

令和2年度家庭教育事業実績一覧

ブロック名	実施日	テ ー マ	講 師	参加人数	会場
相模湖・藤野	10/18 (日)	涙も笑いも、力になる ～院内学級の子どもたちが 教えてくれた大切なこと～	昭和大学大学院 保健医療研究科准教授 副島 賢和氏	81名	内郷小学校 体育館
津久井	11/21 (土)	「生まれてきてくれて、 ありがとう」 って子どもに伝えたい あなたのために	明星大学教育学部 教育学科教授 星山 麻木氏	110名	津久井中央 公民館
相模・相武台	2/1～ 2/28	どう活かすかはあなた次第 ～くらしに活かす 魔法の心理学～	日本アドラー心理学会 カウンセラー 岡山 恵美氏	2,379名	動画配信

※3事業の参加人数：2,570名

家庭教育事業アンケート集計結果

参加者数 2570人 アンケート回収枚数 178枚 回収率 7%

1. あなたは、①小学校保護者 ②中学校保護者 ③教職員 ④その他

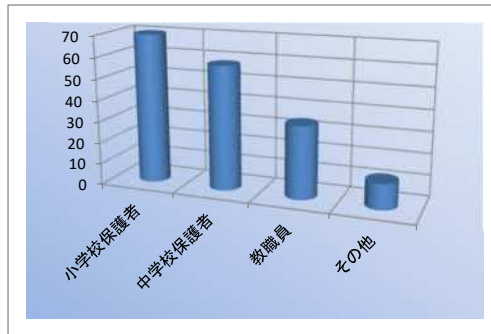
複数回答

①	70人	39%	②	58人	33%	③	34人	19%	④	12人	7%
---	-----	-----	---	-----	-----	---	-----	-----	---	-----	----

174人

高校生以上の保護者(2)、市P連OB(1)、保育園児保護者(1)、元PTA会長(1)など

98%



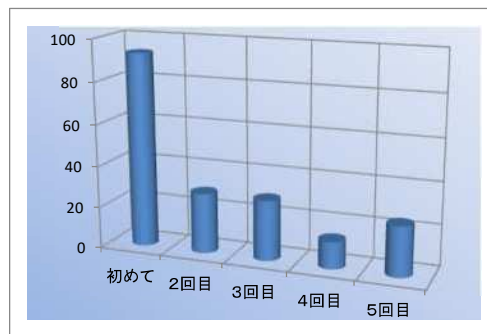
2. 家庭教育事業の参加は何回目ですか？

①初めて ②2回目 ③3回目 ④4回目 ⑤5回以上

188人

①	93人	52%	②	29人	16%	③	29人	16%	④	13人	7%	⑤	24人	13%
---	-----	-----	---	-----	-----	---	-----	-----	---	-----	----	---	-----	-----

99%



3. 家庭教育事業があることを知ったきっかけは何ですか？

①PTAからの参加依頼 ②知人の紹介 ③チラシ、ポスター ④会場の前を通った
⑤ホームページ ⑥その他

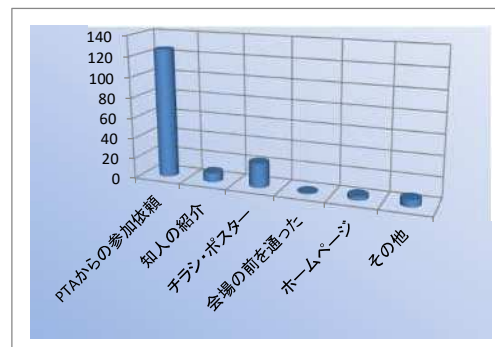
複数回答

171人

①	126人	71%	②	9人	5%	③	24人	13%	④	1人	0.6%	⑤	4人	2.2%	⑥	7人	4%
---	------	-----	---	----	----	---	-----	-----	---	----	------	---	----	------	---	----	----

96%

勤務のため、SNSでの紹介 など



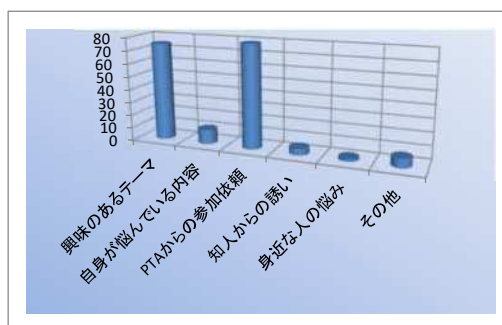
複数回答

4. 家庭教育事業に参加しようと思った理由は何ですか？

- ①興味のあるテーマだった ②自身が悩んでいる内容だった ③PTAからの参加依頼があったから
④知人に誘われたから ⑤身近に悩んでいる人がいたから ⑥その他

177人
99%

①	75人	42%	②	11人	6%	③	79人	44%	④	5人	3%	⑤	2人	1%	⑥	7人	4%
---	-----	-----	---	-----	----	---	-----	-----	---	----	----	---	----	----	---	----	----



5. 参加した感想は？

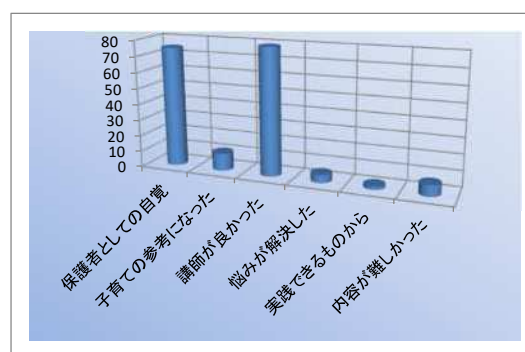
- ①保護者としての自覚ができた ②子育ての参考になった ③講師が良かった
④悩みが解決した ⑤実践できるものからやってみようと思った ⑥内容が難しかった
⑦参考にならなかった ⑧その他

複数回答

205人
115%

①	10人	6%	②	66人	37%	③	60人	34%	④	2人	1%	⑤	55人	31%	⑥	3人	2%
⑦	2人	1%	⑧	7人	4%												

- ・心がすっきりした。
- ・内容が自分の課題にあっているかわからない中、長い動画を見るのは難しいと感じた。



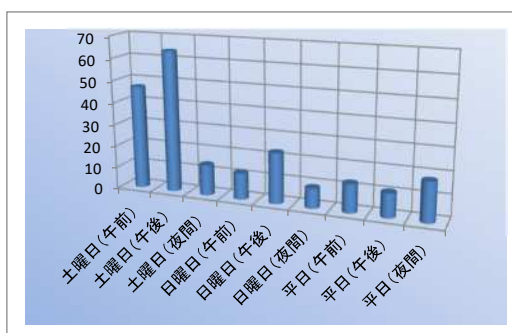
6. 参加しやすい日時はいつですか？

- ①土曜日（午前）②土曜日（午後）③土曜日（夜間）④日曜日（午前）⑤日曜日（午後）
⑥日曜日（夜間）⑦平日（午前）⑧平日（午後）⑨平日（夜間）

複数回答

211人
119%

①	47人	26%	②	64人	36%	③	14人	8%	④	12人	7%	⑤	23人	13%
⑥	9人	5%	⑦	13人	7%	⑧	11人	6%	⑨	18人	10%			



7. 参加しやすい時期はいつですか？

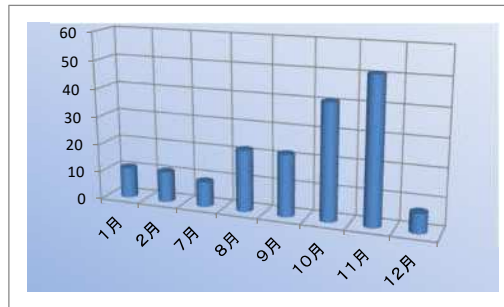
①1月②2月③7月④8月⑤9月⑥10月⑦11月⑧12月

※3～6月は、事業の準備期間のため開催しておりません。

①	11人	6%	②	11人	6%	③	9人	5%	④	22人	12%	⑤	22人	12%
⑥	41人	23%	⑦	51人	29%	⑧	7人	4%						

複数回答

174人
98%



8. どのような形態が良いですか？

①講演会が良い ②シンポジウム等の参加型が良い ③グループワークが良い

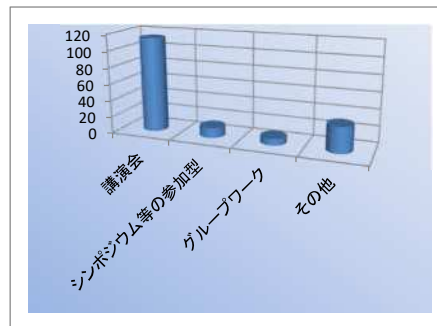
④その他

①	114人	64%	②	12人	7%	③	8人	4%	④	31人	17%
---	------	-----	---	-----	----	---	----	----	---	-----	-----

複数回答

165人
93%

・講演会も良いが、動画配信も家にいてみることで良かった。



9. 次回も参加したいですか？

①参加したい ②講師次第で決める ③内容次第で決める ④参加したくない

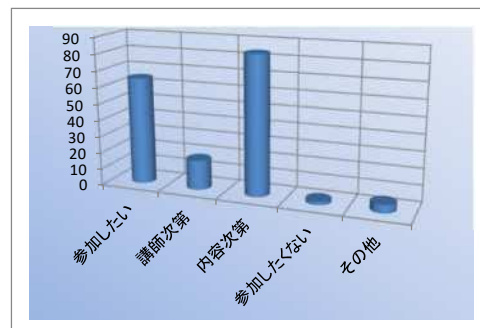
⑤その他

①	65人	37%	②	18人	10%	③	84人	47%	④	2人	1%	⑤	5人	3%
---	-----	-----	---	-----	-----	---	-----	-----	---	----	----	---	----	----

複数回答

174人
98%

・参加依頼があれば参加する
・テーマによる



複数回答

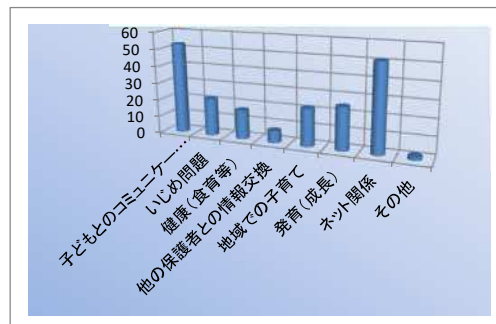
199人
112%

10. 今後、参加したい家庭教育事業の内容はなんですか？

- ①子どもとのコミュニケーションの取り方 ②いじめ問題 ③健康（食育等）④他の保護者と情報交換
⑤地域での子育て ⑥発育（成長） ⑦ネット関係（携帯・SNS等） ⑧その他

①	53人	30%	②	22人	12%	③	17人	10%	④	7人	4%	⑤	22人	12%	⑥	25人	14%
⑦	51人	29%	⑧	2人	1%												

- ・子ども同士のコミュニケーション力の付け方
- ・勇気づける声かけの方法



11. 家庭教育事業に参加して、取り組んでみたいと思うことはありましたか？

別紙のとおり

12. 今後、更に多くの方に家庭教育事業に参加していただきたいと考えております。

どのような方法なら参加しやすいですか。あなたのご意見をお聞かせください。

別紙のとおり

註1) 設問によっては、複数回答を含む設問があるため、回収枚数と回答数が一致しない。

註2) 各設問において、回答の割合が100%とならないのは、「無回答」を含んでいないため。

家庭教育事業に参加して、今後取り組んでみたいこと

- 「素直に受け止めて思ったことを伝えることが心のエネルギーになる」と、大切なことを教えてもらうことができました。
- 子どもに見たままを伝える。「どうしたの？」って、すぐに聞かないこと。
- 自分が元気になることをやっていこうと思います。
- 子どもと一緒に楽しいことをもっとやってみたいと思いました。
- 毎回とっても自分のためになります。講演会は、講師の声を間近で聞けるのがとっても好きです。
- テーマで思っていたより重い話でしたが、感動し、心が揺さぶられました。
- 心に寄り添う言い方をすること。
- 自尊心を大切に。親としても子どもに弱さを見せる。
- 子どもとのコミュニケーションの取り方で悩んでいたのが、今日学んだことをヒントにしていきたいと思います。
- 自立と保護のバランス、大切だと思いました。
- 子どもの感情を受け止めていきたい。
- まず、だれの事柄（問題）、自分自身で対応できるのかを考えてからというところから始めたい。
- 引き続き、親子のコミュニケーションの取り方、思春期の子との向き合い方など
- 無言の圧力による罰をやめてみる。
- 子どもに対する接し方、是非実践したいと思います。
- これからの育児や夫婦関係で活用したいと思いました。
- 子どもと話す際に、自分の気持ちの持ち方を考えながら話をしよう、と思いました。
- 子どもの話をしっかり聞いて、勇気づけながらいろいろな事に取り組んでいきたいと思いました。
- 勇気づける声掛けを心掛けたいと思いました。
- 子どもの接し方。
- 携帯やSNSとの上手な利用法。
- より一層子どもの話を聞こうと思いました。
- 合理的配慮について親子で話し合おうと思います。
- とても暖かい気持ちになりました。この気持ちを忘れずに子どもと関わっていききたい。
- 今はまだ普通が当たり前の生活でしようが、まず自分発見をして子どもとのコミュニケーションを大切に、思いやり、優しさに努めていきたいです。
- 「違っていいからこそ助け合える」って素敵だと思いました。わが子も含めて地域で子育てをしていきたいと思いました。
- うちの子も障害があり、締め付けるものが嫌で固まっていた。話を聞いて大変参考になりました。
- 自分の事を知る、子どもの事を知ることから。後はたくさん（もっているもの）を認めて褒めていきたい。
- 「誰も悪者にしない」という言葉、響きました。私もそのようにしたいです。
- ノイズキャンセラー等のグッズを自分の子どもにも進めてみようと思いました。
- 子どもとのかかわりをもう一度考えてみようと思った。

どのような方法が参加しやすいか

【参加環境】

- ・日曜日の午後は一番参加しにくいと思う。(家族と過ごしたい時間だから)
- ・動画配信はとても参加しやすいと思います。家にいて空いている時間での視聴ができるので画期的だと思いました。(4)
- ・講師の話の聞いたり、先生方も参加して下さると参加しやすいです。
- ・今回の動画配信は、コロナの感染リスクがある間は、このような事業方法が良いと思います。
- ・動画配信だと、たくさんの方が参加できて、子どもとも共有しやすいと思いました。
- ・時間が限られていると難しいので、オンラインと対面を選べるとよい。
- ・動画配信はとても良いと思います。ただし少し時間が長かったです。
- ・あまり堅くならない方がいい。
- ・今までは講演会などが主流でしたが、これからはこのような動画配信だと参加しやすいと感じました。
- ・子どもも一緒に参加できたり気軽に立ち寄れる雰囲気だと参加者が増えると思います。
- ・リモートの参加なら良いと思う。
- ・時間短縮で行えば構えずに参加しやすい。
- ・小さな子どもがいるので託児所があればよい。

【周知方法】

- ・学校で早めのパンフレット配布をする。

【内容】

- ・講演会が良い。テーマも良かった。
- ・少しハードルが高いのかと思います。

感想・意見

- ・感染対策としてオンライン中継等ができればよいのではないかな。
- ・知名度のある人を呼んで講演する。
- ・お笑い芸人が来るとかほかの楽しみがあればよい。
- ・地域団体との共催をしてはどうか。
- ・オンラインでの双方向の回を時間帯を複数設定し、様々な人が参加できるようにしてはどうか。
- ・動画配信は場所を選ばず多くの方が参加できるのが良い点だと思いますが、実際に足を運んで見聞きしたり、体験型の講座のほうが記憶に残る気がします。
- ・直接講演会でお話を聞くというのが良いのかもしれませんが、仕事を休んだり、幼い子を預けたりということとをせずに参加できる今回の動画配信は今後も取り入れる価値があるのかなと思いました。(2)